

第一回
2019. 6.15. Sat

第一回アクティブラーニング・プログラム研修会

13:00~16:00

13:00~16:00 ミュケーションスキル向上 プログラム

平成 31 年度 府中市市民提案型協働事業

中学生と大学生が学び合うアクティブラーニング・プログラム

[FASS] (Fuchu Active Learning Program Sharing with Students) による

◆プログラム◆

1部 13:00~14:30 岡田昭人教授による講義『異文化理解』

2部 14:45~16:00 ワークショップ『人の話を聞く方法』など

【会場】東京外国語大学 府中キャンパス

【定員】先着 20 名

【対象】教育や学習支援活動に関心のある一般市民の方、教員、大学生等

【参加費】一般 2000 円／学生 1000 円（資料代等）

【お申し込み】特定非営利活動法人地域教育ネット社まで。

tel : 080-9341-4463 mail : npoknet.jp@gmail.com

【講師】岡田昭人(東京外国語大学大学院教授)

～プロフィール～

東京外国语大学大学院総合国際学研究院教授。／オックスフォード大学教育学博士。／1967年生まれ。同志社大学卒業後、ニューヨーク大学大学院で異文化コミュニケーション学の修士号を取得。／オックスフォード大学教育大学院にて日本人で初めて教育学の博士号を取得。／東京外国语大学で15年にわたり日本人と留学生に教育学や異文化コミュニケーション学を教えている。／現在、研究室は約100名の学生が在籍する人気ゼミ。／卒業生には外務省、国連職員をはじめ、民間トップ企業の海外オフィスや教育NGOの要職に就く者が多い。／「たけしのニッポン人白書」「爆笑問題のニッポンの教養」など、メディアに出演・協力多数。／著書に『教育の機会均等』(学文社)、共著に『国際教育学の展開と多文化共生』(学文社)など。

※当日は各自飲み物をご持参ください。

This map shows the surrounding area of Tokyo Foreign Language University. Key locations include:

- 多磨駅 (Tama Station) with a connection to the Keio Line.
- 至武藏境 (To Musashimurayama)
- 東京外語大学前 (Tokyo Foreign Language University Front)
- 武藏野の森公園 (Waniganomori Park)
- 東京外語大学東 (Tokyo Foreign Language University East)
- 調布飛行場 (Chofu Airfield)
- スポーツ施設 (Sports Facilities)
- 警察学校 (Police School)
- 養護学校 (Nursing School)
- 社会福祉施設 (Social Welfare Facility)
- 味の素スタジアム (Meiji Shrine Outer Garden)
- 飛田給一 (Hidaka Ichi)
- 飛田給駅北口 (Hidaka-eki Kita-mae)
- 至新宿 (To Shinjuku)
- 白糸台3 (Shiroishi-dai 3-chome)
- 甲州街道 (Kōshū-dōro)
- 旧甲州街道 (Old Kōshū-dōro)
- 京王線 (Keiō Line)
- 至八王子 (To Hachioji)
- 至府中 (To Fuchū)
- 西高架橋 (West Elevated Road)

◆京王電鉄 「飛田給」駅北口より多磨行き
京王バスにて約10分
「多磨駅」下車 徒歩5分

◆京王電鉄
「飛田給」駅北口より多磨行き
京王バスにて約10分
「東京外国语大学前」下車

◆JR中央線
「武藏境」駅のりかえ
西武多摩川線「多磨」駅下車徒歩5分
(JR新宿駅から約40分)

主催：特定非営利活動法人 地域教育ネット × 特定非営利活動法人 府中市民活動支援センター × 教育部指導室／共催：東京農工大学農学部教職課程研究室、東京外国语大学大学院比較教育学研究室／お問い合わせ：府中市教育教育部指導室 042-335-4062(担当：鈴木)／特定非営利活動法人 地域教育ネット 080-9341-4463 nnoknet.jp@gmail.com (担当：汁)



【FASS】とは

塾でもない学校でもない第三の学びの場『居場所』を市民の力で作り上げていく活動です。

地域の特性を活かした中学校での放課後学習会、夜間大学キャンパスでのアクティブ・ラーニングの他、留学生とのふれあい授業、自然体験授業などを府中市の中学生に対して行なっています。

【FASS】の必要性について

公教育である中学校では、生徒すべてが必要な知識や判断力などを培う場とされていますが、**教育環境**に恵まれないなど様々な理由で、中学校の学習についていけない生徒や意欲の持てない生徒が存在し、不登校さらには高校への進学が難しくなるなどの課題へとつながっていることが少なくありません。

一方で市内には専門性の高い国立大学である、東京農工大学・東京外国語大学があり、その特性としては、**環境教育・自然体験や言語 コミュニケーション力・異文化適応力**などがあります。これらは、府中市の学校教育プランの目指す子供像の為の【学んだことを基礎として、自ら考えることのできる力】や【様々な課題に主体的に取り組み、解決することのできる力】を育成するために必要な要素です。

現在、中学校との協働により市内 5 中学校と市内 2 大学の学生 とで中学生を対象とした学習支援プログラムが実施されています。各中学校の置かれている状況を前提に **2 大学の持つ特性を生かしたアクティブラーニング・プログラム**が実施されることにより、**中学生と大学生の育ちあい**が実施されています。しかし、その継続にもいくつかの課題が残されています。

今後、今までの府中ならではの「国立 2 大学」の特性やキャンパスを活かした支援事業を継続・発展させ、さらには、市内 他中学校における、それぞれの学区域ニーズに応じたプログラムを、**地域住民も参加する形**で実施していくことが必要とされています。

また、本事業に関わる学生が増えることにより、**府中市に愛着を持つものが増え、現在懸念されている府中市における人口減少問題、特に大学生世代による転入超過ののちの転出を減少させることができ、さらには継続的な教育実践活動の場を確保することによって教職課程履修学生の教職への意識向上の一助になると**考えています。

今回の研修は、そのような学習活動に関わるために必要なスキル向上を目指して行われます。

内容は学習の場面だけに留まらず、人間関係づくり、子育てなどにも活かせる、異文化理解の講義や人の話の聞き方（傾聴）などのワークショップ等を予定しています。